



メジロ

(2005年5月3日撮影)

あざやかな「うぐいす色^{いろ}」なので、ついウグイスと
おも^{おも}ってしまいそうです。公園^{こうえん}でも年^{ねん}中^{じゅう}見^みられる鳥^{とり}です。

あま^{あま}す^すと^とり
甘い^{あま}ものが好き^すな鳥^{とり}で、たくさん^{たくさん}蜜^{みつ}をつける花^{はな}や甘い
くだもの^{くだもの}のできる木^きに集^あまります。舌^{した}は花^{はな}の蜜^{みつ}を吸^すいやすい
ように、まるで筆^{ふで}先^{さき}のようになっています。メジロがハ
チのよう^{はな}に花^{はな}の蜜^{みつ}を吸^すいまわること^{こと}で、花^{はな}も花^{はな}粉^{かふん}を運^{はこ}ん
でもら^たって助^{たす}かっているのです。

なま^{なま}え^えめ^めまわ^{まわ}しろ^{しろ}
名^な前は目^めの周^{まわ}りが白^{しろ}いところから。

す^すき^きえだ^{えだ}か^かくさ^{くさ}あ^あす^す
巣^すは、木^きの枝^{えだ}にコケ^かや枯^くれ草^さを編^あんだもの^{もの}をクモ^{くも}の巣^す
いと^{いと}ひ^ひか^かけてぶ^ぶら下^さげるよう^{よう}なもの^{もの}を作^{つく}ります。

○よく会える時期：3月下旬から6月上旬くらい

○よく会える場所：芳の平など



※イタヤカエデの枝に作られた巣